

2024 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会 全体会資料

日時：2024 年 7 月 13 日（土）16 時 00 分～16 時 40 分

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 4 階 417 号室

資料作成者：総務 田村宜義

全体会次第

1. 開会
2. 議長任命
3. 議事
 - (ア) 2024 年度哲学若手研究者フォーラム 運営概要
 - (イ) 年度ごとの発表者数の推移に関する報告
 - (ウ) 運営委員の勤務時間に関する報告
 - (エ) 研究集会運営業務に対する日当増額の提案
 - (オ) 運営員増員に関する提案
 - (カ) 寄付金の推移および今後の哲学若手研究者フォーラムへのご支援について
 - (キ) 『哲学の探求』執筆負担金の金額について
 - (ク) 2024 年度哲学若手研究者フォーラム 会計報告
 - (ケ) 2024 年度哲学若手研究者フォーラム 会計監査
 - (コ) Google Drive 発表の導入についての報告
 - (サ) 発表希望者数に対する発表枠超過における抽選に関する報告
 - (シ) 研究集会発表司会の割り当てに関する報告
 - (ス) ポスター発表形式の導入に関する検討について
 - (セ) 研究集会開催に伴う宿泊手配について
 - (ソ) J-Stage への『哲学の探求』登録について
 - (タ) 2025 年度研究集会開催日及び開催場所、開催方法について
 - (チ) メーリングリスト登録のお願い
4. 退任・新任委員の紹介
5. 議長解任
6. 閉会

(ア) 2024 年度哲学若手研究者フォーラム 運営概要

1. 運営会議の開催

会議名	年／月／日	場所	主な内容
第 0 回	2023/09/20	ZOOM	<ul style="list-style-type: none">・ 役職決め・ 参加者アンケートの確認・ 2023 年度運営の反省
第 1 回	2023/11/28	ZOOM	<ul style="list-style-type: none">・ レクチャーテーマ候補選定・ 2024 年度の改革について
第 2 回	2024/02/27	ZOOM	<ul style="list-style-type: none">・ レクチャーテーマ決定（「戦争と平和」）・ レクチャー候補選定
第 3 回	2024/03/28	ZOOM	<ul style="list-style-type: none">・ レクチャー決定・ 発表形態の変更、追加の検討・ HP 契約サーバーのプラン変更・ J-Stage 登録に向けての意見集約について
第 4 回	2024/05/15	ZOOM	<ul style="list-style-type: none">・ 発表者枠、発表者数の決定・ 参加者募集形式の検討・ 司会者割り当ての検討・ 「案内」「タイムテーブル」「要旨集」の作成・ J-Stage の申請について
第 5 回	2024/06/27	ZOOM	<ul style="list-style-type: none">・ 研究集会当日に必要な備品について・ 研究集会当日の委員タイムスケジュール・ 次期運営委員について・ 運営委員の増員について・ 次期研究集会の会場について・ 懇親会開催の有無
第 6 回 (直前)	2024/07/11	ZOOM	<ul style="list-style-type: none">・ 備品買出し及び各種印刷作業割当・ 次期運営委員について・ 次年度開催地と開催日の候補決定・ ポスター発表の導入について・ 全体会の議事の確認

上記は、運営会議にて主に話し合った議題となります。その他の議題や各議題の概要については、本フォーラム HP (<https://wakate-forum.org/data/2024/minutes.php>) においても公開してございます。そちらも併せてご覧ください。

2. Slack での討議・決議

1 にて言及した ZOOM による運営会議のほかに、ワークスペース型のビジネスアプリである Slack を用いて、運営に関わる業務、議題の討議、決議を行いました。

3. 施設の事前見学

対面開催を実施するにあたり、会場・設備の確認のため、2024 年 6 月 14 日および 7 月 12 日に施設担当による国立オリンピック記念青少年総合センターの事前見学を行いました。

4. 『哲学の探求』第 51 号の発行

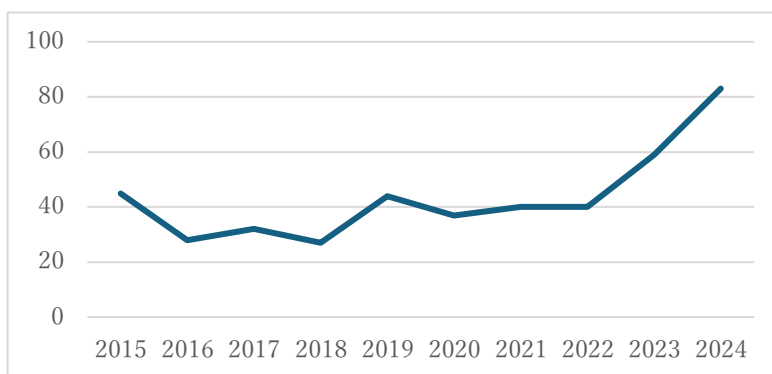
2024 年 3 月に『哲学の探求』第 51 号を刊行いたしました。本フォーラム HP (<https://wate-forum.org/data/tankyu/content51.php>) よりご覧いただけます。2023 年度研究集会にて行われたテーマレクチャー「〈ケアの倫理〉と〈倫理学〉」にご登壇いただいた安井絢子先生によるテーマ紹介の論考と論文、佐藤岳詩先生による論文の計 3 本に加え、個人研究発表を行なってくださった方々による論文 10 本を掲載しております。

5. 2024 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会の開催

2024 年度は 2023 年度に引き続き、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、対面形式での研究集会の開催を行う運びとなりました。前年度と同様に今年度も発表件数の増加もあり、2024 年 7 月 13 日 10 時 30 分現在、264 名を超える方から参加登録をいただいております。皆様のご参加に心より感謝いたします。

(イ) 年度ごとの発表者数の推移に関する報告

哲学若手研究者フォーラムは、その規模を年ごとに大きくしております。とりわけ、発表者数の増加は著しく、運営としましては嬉しく思っていると同時に、「(サ) 発表希望者数に対する発表枠超過における抽選に関する報告」にあるように、ご希望の形式での発表を叶えることができなかつた方もいるという現状に対し、悲しくも思っております。今後の運営体制、業務の改善のためにも、直近 10 年の発表者数（発表枠）の推移を示します。



※2020年から2022年の3年は完全オンライン開催
※それ以外の年度は国立オリンピック記念青少年総合センターでの開催

(ウ) 運営委員の業務時間に関する報告

2023年度哲学若手研究者フォーラムの運営業務より、運営委員の業務実態と時間を把握するため、勤怠システム（Google Formによるタイムカードの提出）を導入しております。この勤怠システムの導入は、担当間の業務量・業務時間の格差を小さくし、業務の再分配、場合によっては運営委員の増員を行うためのものです。2024年度（期間：2023年9月20日～2024年7月12日23時59分）における各運営委員の勤務時間は以下のとおりです。

役職	勤務時間
HP・X	19時間30分
会計	42時間6分
施設	19時間30分
総務	53時間6分
通信	25時間40分
テーマレクチャー	20時間25分
『探求』編集（1年目）	24時間10分
『探求』編集（2年目）	59時間1分

なお、上記の表には、研究集会の前日準備、当日運営の業務時間は含まれておりません。また、今後、今年度研究集会の反省会議、次年度への引き継ぎ業務などにより、各人の業務時間はさらに増えることが予想されます。

(エ) 研究集会運営業務に対する日当増額の提案

2023年度哲学若手研究者フォーラムより、研究集会当日の業務に対して、運営委員に各日の日当として5,000円（両日10,000円）を支給することが前年度全体会より決議されました。これは、運営委員の業務量、業務時間の実態を踏まえてのことでしたが、依然として、その実態との乖離は否めません。本年度、研究集会にて運営委員は、1日目は8時20分に集合し、20時00分まで業務を、2日目は8時20分に集合し、19時00分まで業務を行う予定となっております。もちろん、休憩時間を設けはいたしますが、両日10時間を超える拘束が見込まれることには変わりありません。そこで、そのような業務実態に鑑みて、各運営委員に対する日当の増額をここに提案いたします。日当は、各日10,000円とし、両日20,000円の支給を考えております。なお、この金額は今後の金融情勢、運営業務体制など

によって変動する可能性がございます。上記、2024 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会全体会にて決議を行います。

(オ) 哲学若手研究者フォーラム運営委員の増員に関する提案

「(イ) 年度ごとの発表者数の推移に関する報告」および「(ウ) 運営委員の業務時間に関する報告」により、当フォーラム運営委員の業務量、業務時間は増加傾向にございます。本フォーラムの発展を考えますと、このような事態は大変喜ばしいことではございます。ですが、現状の運営委員数(8名)では、到底対応できない規模にもなっているように考えられます。実際、2019 年度以前では行われていた対面形式での運営主導による懇親会の開催は、新型コロナウイルス感染予防および運営委員の業務負担軽減の観点から、前年度同様に今年度も見送っております。しかしながら、哲学若手研究者フォーラムという若手研究者のみならず多種多様な方々が広く参加していただける場を提供することを目指している運営の立場からしますと、各参加者が懇親を図り、今後の生活、研究に寄与することができる場を設けられないというのは機会損失に他ならず、憂慮すべき事態です。そのため、運営業務の見直しを含め、業務改善と各運営委員業務負担軽減を行うためにも、次年度以降少なくとも1名の運営委員増員を提案いたします。上記、2024 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会全体会にて決議を行います。

(カ) 寄付金の推移および今後の哲学若手研究者フォーラムへのご支援について

2023 年度より Peatix を通じて、哲学若手研究者フォーラムでは皆様より寄付を受け付けております。Peatix における寄付チケットは、4 種類ございます。300 円、1,000 円、3,000 円、10,000 円のチケットです。2023 年度と本年度の寄付金額は下記のとおりとなります。

年度	金額 (円)
2023	185,178.3
2024	74,525

上記金額は Peatix 手数料を差し引いた金額となります。2023 年度の内訳は、300 円チケット 11 枚、1,000 円チケット 11 枚、3,000 円チケット 5 枚、10,000 円チケット 17 枚となっております。また、2024 年度(7 月 12 日時点)の内訳は、300 円チケット 6 枚、1,000 円チケット 18 枚、3,000 円チケット 4 枚、10,000 円チケット 5 枚となっております。皆様からいただいた寄付は、哲学若手研究者フォーラムの運営に伴う諸経費に使用させていただいております(使用経費については「(ク) 2024 年度哲学若手研究者フォーラム 会計報告」をご覧ください)。また、継続的な皆様からのご支援を賜るために、クラウドファンディン

グの利用も検討しております。導入の検討につきましては、次年度以降の運営委員に引き継ぎいたします。

(キ)『哲学の探求』執筆負担金の金額について

哲学若手研究者フォーラムでは、フォーラム誌である『哲学の探求』を刊行しております。今年度発行いたしました第 51 号より、執筆負担金をこれまでの 8,000 円から 7,000 円に減額しております。減額の経緯につきましては、2023 年度哲学若手研究者フォーラム全体会議資料 (https://wakate-forum.org/data/2023/2023_shiryō.pdf) をご覧ください。第 52 号以降の執筆負担金につきましては、引き続き次年度以降の運営委員にて検討の後、全体会およびメーリングリストにて皆様にお伝えいたします。

(ク) 2024 年度哲学若手研究者フォーラム 会計報告

会計担当が会計報告を行います。別資料「2024 年度哲学若手研究者フォーラム会計報告」をご覧ください。なお、2024 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会に関わる会計は 2024 年 7 月 13 日現在において未払いである分を含むため、確定後の報告書を改めて HP に掲載いたします。

(ケ) 2024 年度哲学若手研究者フォーラム 会計監査

2024 年度哲学若手研究者フォーラム会計につきましては、2024 年 7 月 13 日午前 0 時 30 分より、オンライン (ZOOM) にて報告書、帳簿、通帳、領収書を監査したところ、適正に処理されていることを認めました。

2024 年 7 月 13 日 会計監査 田村宜義



(コ) Google Drive 発表の導入についての報告

2024 年度哲学若手研究者フォーラムでは、Google Drive によるオンライン形式での発表を導入いたしました。これは、諸事情により対面でのご参加が難しい方がいることを考慮したものであると同時に、対面形式での発表希望者数とオンライン形式での発表希望者数とを比較し、今後の研究集会の開催形式を決定するための判断材料とするためのものであります。また、対面形式での発表希望者数がこちらで用意できる発表枠を超過した場合の受け皿にもなることが可能ではないか、という観点からも導入を行いました。結果的に、対面形式での発表希望者数が 87 件 91 枠分であったのに対して、Google Drive 形式での発表

希望者数は 3 件となりました。この発表形式による希望者数の大幅な差は、対面開催を基本としていることに要因のひとつがあると推定できますが、詳しい分析は今後開催予定である運営委員による本年度研究集会の反省会にて行っていく予定です。

(サ) 発表希望者数に対する発表枠超過における抽選に関する報告

2024 年度哲学若手研究者フォーラムでは、当初、2023 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会と同様の数の発表枠（60 枠）を用意しておりました。ですが、すでに「(コ) Google Drive 発表の導入についての報告」で言及しているように、対面形式での発表希望者数が 87 件 91 枠分ございました。そのままですと、単純に 31 枠分の発表ができないことになってしまい、発表希望者には大幅な機会損失が生じると考えました。そのため、運営会議にて、発表用の教室を 1 部屋多く借りるのに加え、1 日のタイムスケジュールを夜間まで延長することにより、発表枠を 84 枠分まで増やすことにいたしました。このような対応を取りましたが、依然として発表枠が不足していることから、発表者募集要項にも記載のとおり、発表回数の少ない方から優先的にご発表いただくという方針にもとづき、昨年度発表された方で今年度も発表希望を出された方から無作為の抽選をさせていただき運びとなりました。結果的に、7 件の一般・共同研究発表が落選する形となりました。なお、落選した方には、今年度、Google Drive 発表を行うこともできる権利を付与いたしました。

(シ) 研究集会発表司会の割り当てに関する報告

哲学若手研究者フォーラムでは、例年、研究集会の参加者登録をしていただく際、有志の方に発表司会をお願いするという文言とフォームを用意しておりました。ですが、2024 年度哲学若手研究者フォーラム研究集会では、発表件数が 80 枠分あり、例年通りの司会割り当ての方法ですと、そもそも有志の方の人数が集まらない可能性があるのに加え、それぞれの方の専門に鑑みながら発表司会を割り当てていくことを踏まえると、大変な作業になることが想定されたため、発表者が自らの発表のひとつ前の枠の司会を行うという形式に変更いたしました。それに伴い、「司会者マニュアル」を運営が用意し、それに則って司会をしていただく運びとなっております。「司会者マニュアル」については、「しおり」をご確認くださいませ。また、各教室の教卓横の机上にも配備してございます。新たな取り組みとなり、混乱を招くことも予想されますが、円滑な研究集会運営に何卒のご協力賜れば幸甚でございます。

(ス) ポスター発表形式の導入に関する検討について

「(イ) 年度ごとの発表者数の推移に関する報告」や「(サ) 発表希望者数に対する発表枠超過における抽選に関する報告」にもありますように、哲学若手研究者フォーラム研究集会では、数多くの発表希望者および発表者の方がおり、残念ながらご希望に沿えない方もいらっしゃっております。これは、運営委員数及び会場の制約、予算の都合などさまざまな要因から、すぐさまの発表枠の拡大が困難な状況にあるということが原因にもなっていると考えられます。そこで、運営ではポスター発表形式の導入の検討を行っております。ここで、担当委員からのプレゼンテーションがございまして、ご覧ください。なお、実際にポスター発表形式を導入するか否かについては、次年度の運営委員にて更に議論を進めていく予定です。

(セ) 研究集会開催に伴う宿泊手配について

2023 年度に発覚した、運営による宿泊手配に関わる問題から、前年度では研究集会開催に伴う宿泊手配は完全にやりやめておりました。経緯の詳細につきましては、「2023 年度哲学若手研究者フォーラムにおける宿泊手配取りやめの経緯報告」(https://wakate-forum.org/data/2023/wakate_forum_report.pdf) をご覧ください。前年度の方針に基づき、今年度の運営委員により議論を行いましたが、観光庁産業課の指摘通り、旅行業法第 2 条及び第 3 条に則り、運営が旅行業もしくは旅行業者代理業の申請を行うことは、現状の業務体制から非現実的であると考え、2024 年度につきましても研究集会開催に伴う宿泊手配については取りやめとすることにいたしました。

(ソ) J-Stage への『哲学の探求』登録について

こちらは編集担当が報告いたします。哲学若手研究者フォーラムは毎年ジャーナル『哲学の探求』(以下、『探求』)を電子媒体で発行し、ホームページに掲載する形で公開してきました。現在、フォーラムではこの『探求』の公開方法を、J-Stage での登録に切り替えることを検討しています。2024 年 4 月 11 日にメーリングリストにより、本件のご案内をいたしました。また、同 21 日まで、本件に関する意見聴取の期間を設け、Google Form により回答を募っておりました。その結果、6 件のご意見をいただきました。内容としましては、「運営委員の負担の増大に対する懸念」と「登録作業の外注提案」に関するご意見が大部分を占めておりました。ご意見の通り、現状の運営委員数や運営体制では、すぐさまの大量登録の作業をすることは困難であることを踏まえ、最新刊である第 51 号のみを登録し、その作業量や実態を把握することから、今後の運用を考える運びとなりました。現在、J-Stage への利用申請の結果、審査が行われ、J-Stage 登録誌としての採択まで業務が進んでおります。

(タ) 2025 年度研究集会開催日及び開催場所、開催方法について

2025 年度哲学若手研究者フォーラムの開催日は、2025 年 7 月 19 日（土）及び 20 日（日）を予定しております。開催場所につきましては、例年通り、国立オリンピック記念青少年総合センターを仮予約する予定です。ただし、運営会議において、東京都以外での対面開催を行うことの検討が積極的に進んでおります。次年度もしくは次々年度になってしまう恐れもございますが、上記検討事項について改めて運営委員より報告をする予定です。どのような開催方式になるにせよ、次年度、さらには次年度以降の哲学若手研究者フォーラム研究集会への皆様のご参加を運営委員一同、心よりお待ちしております。

(チ) メーリングリスト登録のお願い

哲学若手研究者フォーラムでは、メーリングリストにより、本フォーラムの情報や決議事項を皆様に周知しております。まだメーリングリストにご登録が済んでいない方がいらっしゃれば、annai@wakate-forum.org までその旨をお知らせくださいませ。